

法律学演習Ⅲ

科目ナンバリング SEM-401
必修 2単位

山口 航

1. 授業の概要(ねらい)

日米関係にどのようなイメージを持っていますか？ 日本はアメリカに「従属」してきた(いる)のでしょうか？ あるいは、アメリカから「自立」した政策を日本は展開してきた(いる)のでしょうか？ 「対等な日米関係」とは何なのでしょうか？

この授業では、日米関係・日本外交・国際関係をとりまく幅広い内容の書籍などを読みながら、既存の研究の定説を学ぶとともに、最先端の研究も紹介します。受講者には、個人の研究を進め、プレゼンテーションやディスカッションをしてもらいます。理解を深めるために映像資料も使います。

日米関係・日本外交・国際関係の知識やプレゼンテーション・ディスカッションの能力など、本講義で学べることは、就職活動において、そして、社会人になってもきつと役に立ちます。文献をただ読むだけにとどまらず、日米関係や日本外交、国際関係への洞察を深め、プレゼンテーションやディスカッションの能力を向上させる場としてください。

2. 授業の到達目標

- 1) 日米関係や日本外交、国際政治に関して、問題の本質を分析することができる。
- 2) 日米関係や日本外交、国際政治の基本的な知識を応用し、現代社会における諸問題に対する将来の指針を見出していくことができる。
- 3) プレゼンテーション・ディスカッションの能力を向上させることができる。

3. 成績評価の方法および基準

- 1) 平常点 60%(プレゼンテーション、ディスカッションへの貢献度などを評価する)
- 2) 期末レポート試験 40%(授業内で解説。理解度、論理性、体裁の観点から評価する)

4. 教科書・参考文献

参考文献

伊藤修一郎 『政策リサーチ入門[増補版]』 東京大学出版会

5. 準備学修の内容

文献の購読ならびにプレゼンテーション、ディスカッションの準備をすること。
継続してニュースに接する習慣を身につけること。

6. その他履修上の注意事項

積極的にディスカッションに参加すること。

具体的な文献は、受講者の関心に近いものを選んでいく。

担当者による日本政治論や外交史、国民と安全、政治学特殊講義も受講すると理解が深まる。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション(詳細なガイダンスを行うので必ず出席してください)
- 【第2回】 日米関係(オンライン授業の予定)
- 【第3回】 文献の講読・ディスカッション
- 【第4回】 文献の講読・ディスカッション
- 【第5回】 文献の講読・ディスカッション
- 【第6回】 文献の講読・ディスカッション
- 【第7回】 文献の講読・ディスカッション
- 【第8回】 文献の講読・ディスカッション
- 【第9回】 文献の講読・ディスカッション
- 【第10回】 文献の講読・ディスカッション
- 【第11回】 文献の講読・ディスカッション
- 【第12回】 文献の講読・ディスカッション
- 【第13回】 文献の講読・ディスカッション
- 【第14回】 文献の講読・ディスカッション
- 【第15回】 まとめ